

### 【担当教員】

末包伸吾（教授） 高麗憲志（高麗建築設計一級建築士事務所） 浅井保（助教）

### 【Teaching Assistant】

本山有貴 (A70) 赤川舞花 (A70) 森健太 (A70)

### ■課題概要

大学内での活動としての講義や演習・実習とは別に、ある一定の期間、空間を共にし、集中した活動や共通の目的をもって活動する場が求められている。この課題は、近畿圏の大学共通施設として位置づけ、セミナーや共同制作、スタジオ、社会との連携など学内では難しい様々な活動に対して自由で豊かな場を提供することを目的としている。

### ■計画敷地

計画敷地は、神戸市灘区の間籠市街地に位置する灘丸山公園の土地を想定する。現在の公園用地の全部または一部をセミナーハウス用地として使い、敷地へのアプローチも南側の道路をそのまま利用するものとする。独自のアプローチを計画する場合は教員から指導をうけること。

### ■建築概要

建築施設の延べ面積は4,000㎡程度とし、階数・構造は自由とする。

### ■利用者

施設の利用者は主として大学生、大学院生、大学教員であり、15人単位（10人～20人）が6組宿泊でき、最大で150人の学生が共同で研修できる施設とする。また、指導教員や外来者が別に15人宿泊できる諸室を確保すること。

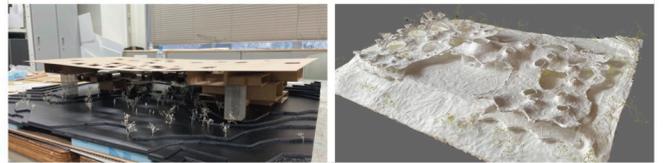
### ■提出図面

A1用紙にコンパクトにまとめること。

- ・全体配置図：1/500
- ・透視図／模型写真
- ・各階平面図、立面図、断面図：1/200 など



国土地理院 地理院地図 (<https://maps.gsi.go.jp/>) をもとに編集者作成  
課題敷地

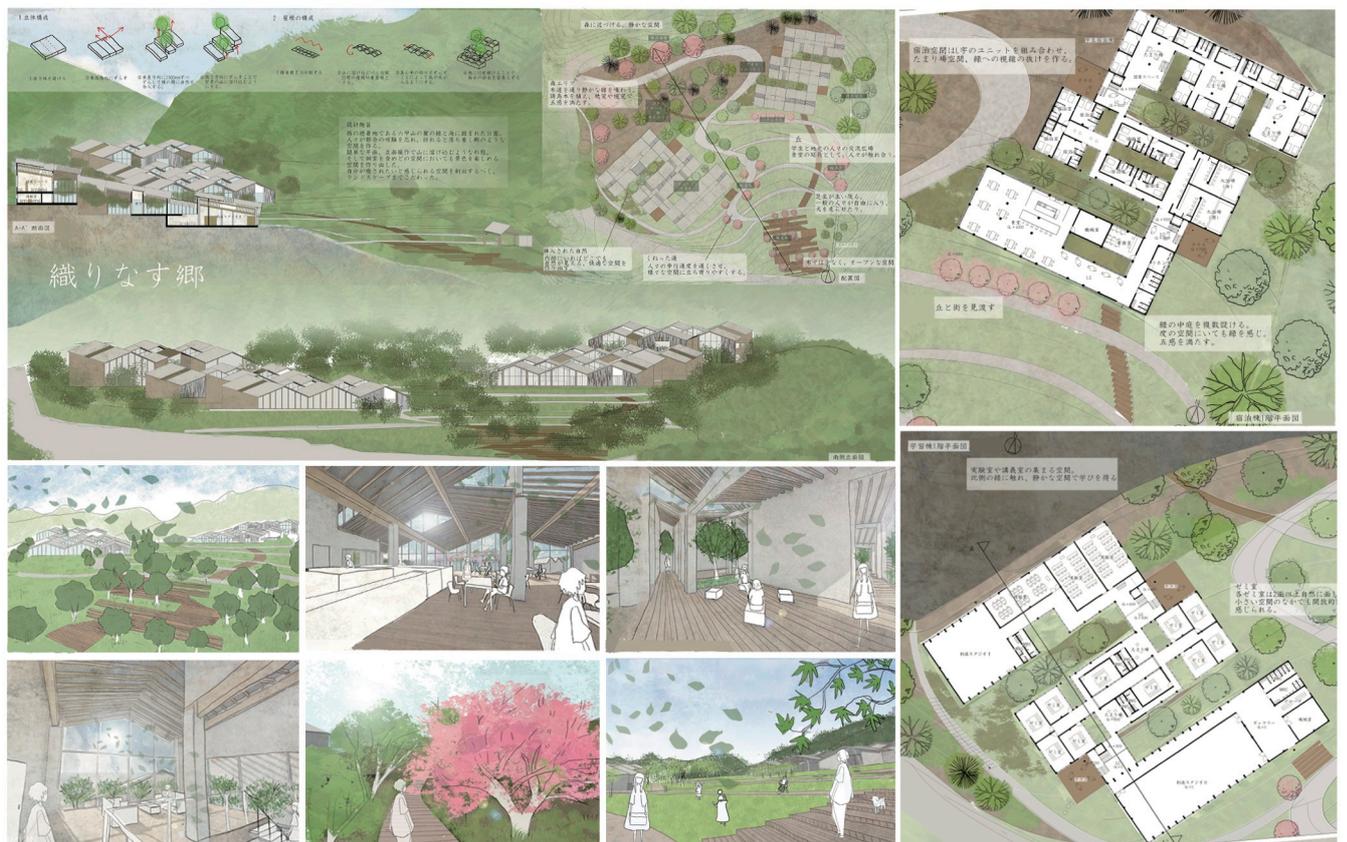


講評会の様子・提出された模型の例（製作：千馬生吹[下左]、丁子絃直[下右]）

## 織りなす郷

### 山口沙礼

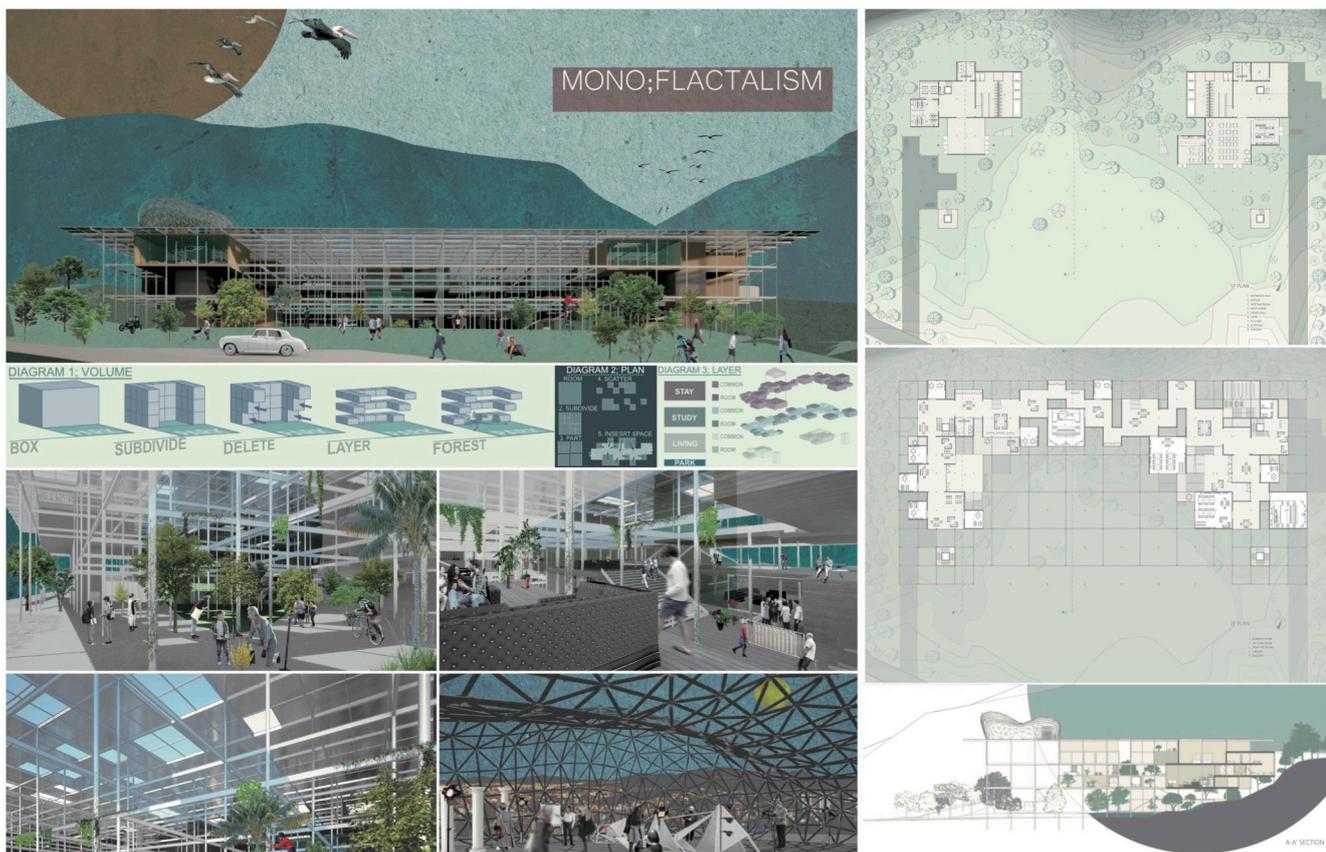
人々が都会の喧騒を忘れ、訪れるだけで落ち着きを得られる故郷のような空間を作る。単純な平面、立面の操作で背景の山に溶け込むような形態操作を行い、個室を含めどこにいても緑を楽しめるようランドスケープや中庭の配置をもこだわった。



# MONO;FLACTALISM

千馬生吹

フラクタル構造とは図形の全体と部分が自己相似になっていることを言う。大きなボックスの中に小さなボックスが内包されるというひとつの単純な構成ルールによってのみ造られる大学施設を提案する。施設は公園を囲むかのように広がり、所々にできた隙間から背後の山々を公園に還元する。



\*パースの添筆は、Skalgubbar ([www.skalgubbar.se](http://www.skalgubbar.se)) より引用

## 囲み、放つ。

金谷百音

山々に囲まれた安心感のある公園の敷地に、更に「囲まれ感を加える山」のようなセミナーハウスを提案する。また、山のような形状の建物内部に楕円体のヴォイドを配置し、内部空間にも囲まれ感を創出しつつ、奥の景色へと視線を導く。囲まれ感と開放感の対比が如実に体感できる空間とした。



# 山景色に赴き、街景色に赴く

菅原慎司

六甲山の山景色と私たちが暮らす街景色の両方を感じることのできる灘丸山公園のここにしかない魅力を最大限生かすために、敷地全体に行きわたるように2曲線を配置した。曲線により生まれる山景色と街景色の動きと調和を感じ、この土地の魅力を伝え、訪れた人の記憶に強く刻む。

## 山景色に赴き、街景色に赴く

2曲線がもたらすもの

今回用いた曲線は山の風景、街の風景をより多くの方向、高度から眺めてほしいという願いを込めた。山側から山側に向かう際に見える景色、町側から山側に向かう際に見える景色。この場所を訪れた人がそれぞれに自分の好きな風景を見つめることが可能になればよいと思った。

ダイアグラム

曲線を配置して視線の中での風景の変化を感じる



六甲山の風景

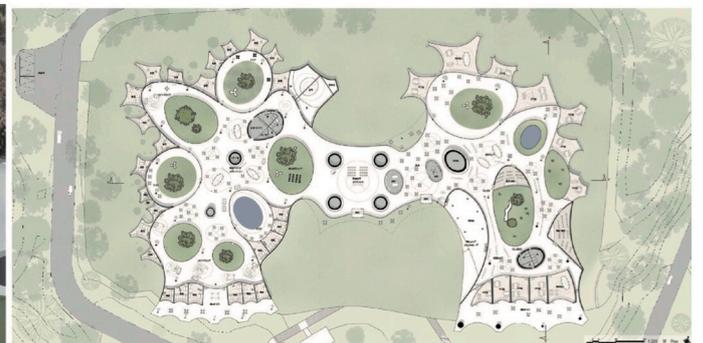
神戸の街の風景



# NEURON ARCHITECTURE

丁子紘巨

広大でフラットな土地に、ニューロンのネットワークを利用し、学生の活動が流動的、連続的につながる空間をつくる。空間の狭さ広さ、天井の高低によって巨大な一室空間を質的に分節しつつ、景色、森、空など豊かな土地環境の表情を強く感じられるような居場所を創造した。



Diagram

